

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
蛍、七夕、土用・・・いよいよ本格的な夏の到来ですね。いかがお過ごしですか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

- 1 きゅうしょくカンガルー！橿原市地域懇談会報告
- 2 イベント情報

■ 1 ■ きゅうしょくカンガルー！橿原市地域懇談会報告

5月31日、橿原市で学校給食に関心のある保護者と農家のみなさんで懇談しました。参加者は、保護者2名、農家3名、きゅうしょくカンガルー！から4名、そして宇陀ランチ・プロジェクトの方3名にもご参加いただきました。

給食に関しては、過去の経験や、それぞれの立場からいろんな意見があります。
「給食は材料費が安い、それなりの内容になっているように感じる、もっとコストをかけてでも良いものを子どもたちに食べさせたい」「昔は残食は許されず居残ってでも食べたが、今は食べられる量を食べるように指導が変わっている」
「給食に生産物を納入したいけど、大量に、安定的に納入するのは難しい。少しずつを持ち寄れるような仕組みができないか」「子どもたちに自分の目で見、自分の手を使う体験をたくさんさせてあげたい」

いろいろな意見に対して、取り組みの先輩である大和郡山の玉ネギプロジェクトや、宇陀ランチ・プロジェクトの例からアドバイスもいただきます。「子どもや保護者と一緒に農作業をして、実際にこの子たちが食べてくれるんだと思うと農家もとてもやる気が出る」「行政側は地元の野菜は価格が高いというイメージを持っているし、農家の側は給食は安くしか買ってくれないというイメージを持って

いるが、実際のところは腹を割って話してみないと分からない」「計画栽培をしたとしても、規格外の生産物を販売するルートを確保しておくことが必要」「子どもは体験を通して変化し、そんな子どもの変化を見て大人もまた学び、感じることもある」

話はあっちに行き、こっちに行き。でも詰まるところは、農家はプロとして質が高く、新鮮で、安全な生産物を作って「地元だから」ではなく「良いものだから」選ばれるものを作って納入したい。そして、「地元だから」こそ、子どもたちとコミュニケーションをとって食育につながることをしたい。そのために、まずは教育委員会などに行って情報収集するとともに、交流を深めていきたいと思います。

そして早速 6 月 26 日、この日参加していた農家さんの田んぼをお借りして、田植え体験イベントが開催されました。この日集まったのは、主にその田んぼがあるのと同じ小学校区に住む約 10 組の家族。田植えは初体験の方ばかりです。香久山の麓の美しい景観の中、親も子も初めての体験にあたふたしつつ、しかし農薬も化学肥料も使わないからこそ安心して触れる、入れる田植え体験です。なんと小さな 1 枚の区画を植え切り、秋には約 60kg のお米がとれる予定だそうです。畔の草刈り、秋の稲刈りなど、来れる人でお世話をしていこうということになりました。

考えると同時にやってみる。真面目と同時に楽しむ。遠い未来と同時にいま目の前を見る。橿原で面白いことがはじまる着火の火花が見えた気がします。

■ 2 ■ イベント情報

◇朝市 de 給食交流会

日時：7 月 16 日（土）10:00～12:00

場所：奈良県農民連北和センター

詳細：チラシ添付

※なんとびっくり！岐阜の学校給食を考える会からも参加予定！

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元：きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）

E-mail：oishiikyusyoku@gmail.com

facebook：https://www.facebook.com/oishiikyusyoku

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (奈良市今市町 40-1)
